

今年度も残すところ数週間となりました。3年生はほとんどの私立入試、また国公立の前期試験が終わり、今週末から来週にかけて結果が返ってきます。中期・後期試験までがんばる生徒も多数いますので、終わったからと浮かれ、頑張る人の邪魔をしないこと、また、中期・後期試験まで受ける生徒は、最後の最後まで気を抜かず、走り抜きましょう。まだまだ終わらない！中期・後期入試はとにかくチャンスがあります。あきらめないことが大事です！



1、2年生はいよいよ新学年に上がりますので、いつまでも1、2年生気分ではなく、これまでの自分を一つレベルUPさせる何かにチャレンジしてもらいたいものです。また、学習に関しても自ら課題を課しながら学習を継続して行うことが大事ですので「誰かにやれ」と言われるからやるという受け身の勉強から脱却していきましょう。

年度の最後の期末テスト

明日、3月2日(木)から7日(火)まで3学期期末テストが実施されます。今回は週末をはさむため、勉強時間がしっかりとれます。何事も計画が大切なので、自分なりに計画を立てて、しっかりと結果が出るように勉強を進めてほしいと思います。多くの生徒にとって定期テストは「しかたなく受けるテスト」「苦痛のテスト」などと、どちらかというマイナスのイメージになってしまいます。ただ、考え方を変えると全く違ったものになります。定期テストでは模試とは違いハイレベルな知識よりも、授業で習った知識を確かめる問題が出されます。これは基礎学力を着実につけられ、自分の基礎力を確認できるチャンスになります。共通テストでは、8割近くの問題が高校1、2年で習う範囲から出題されます。入試といっても応用問題ばかりでなく、基礎的な学習内容の理解が問われます。したがって、この基礎学力を培い、試すのが定期テストであり、最終的に受験に必要な力は普段の定期テスト対策のなかで培われることを理解する必要があります。みなさんが「めんどくさい、しかたなく受けるテスト」から「自分の将来の選択肢を広げるための定期テスト」と捉えられるかが後々の勝敗を分けることになります。まずは目の前のことにしっかり取り組んでください。



来年、再来年受験を迎えるために知っておくべきこと

1. 国公立受験にむけて安易に科目を切らず、特に数学をしっかりやっておくことが大切です。文系学部の受験に関しては国語、英語、そして、社会というイメージを持ちます。私大の受験では国英社がメインとなるので決して間違いではありませんが、ほとんどの旧帝国大学の前期試験(2次試験)の受験科目には数学が入ります。また、今年の入試に関して、東京外語大の入試では数学Ⅱが必修となり、そのせいで倍率が低かったという報告もうけています。安易な逃げの選択をするのではなく、自分の苦手科目に挑み、弱点を克服しようと今から取り組むことが大切です。
2. 添削は根本的な力を伸ばすために行うのではなく、解答の癖を直す、得点のポイントを知る、弱点を知るために行います。3年生になり先生から添削を受ける生徒が多くいますが、添削ではど

うやったら点数が取れる解答を作るかを個人指導するのであって、もともとの土台のない人は添削以前の問題になってしまうので、1、2年生のうちに基礎的な力をつけておくことが大切です。

3. 今勉強をすることの重要性を理解することです。出典はどこかわかりませんが、よく言われていることがあります。

“The pain of study is temporary; the pain of not study is lifelong.”

「勉強に励む苦しさは今だけであり、勉強しなかった苦しさは一生続く」ということです。「アリとキリギリス」の話の中で暖かい時期に働かず遊び、食料のない寒い冬に自分の行いを後悔するという話ですが、勉強に関しては一時的に後悔するのではなく、一生後悔することになる可能性があります。生涯、後悔し続けないように、今すべきことを一生懸命取り組んでほしいものです。

旅立ち



本日3月1日(木)に第59回卒業式が行われ、3年生509名が農大二高を巣立ちました。厳かな雰囲気で行われた卒業式では3年間で振りかえり胸を熱くする生徒、そして、感慨深く生徒の成長を見つめる保護者の方々、教員の姿がありました。アメリカで卒業式は graduation(ceremony) と言いますが、commencement「学位授与式＝大学の卒業式」ともいいます。graduation は、「grade(ランク、レベル)が一段上がること」、commencement は「始まり」を意味し、アメリカでは卒業が「終わり」ではなく、「新しい生活の始まり」だと捉えているわけです。つまり、「学びに卒業はない。」ということです。3年生は農大二高でのかけがえのない日々の中で一つ一つ階段を上り、成長してきたに違いありません。どうか、ここからまた新たな気持ちで新しい階段を上ってほしいと思います。一歩踏み出すことでまた新たな世界が待っていますので！



1年生 農ニイノベーションアワード(NIA)

2月7日(火)に、本校武揚ホールにてNoⅡ Innovation Award(NIA)が実施されました。この活動では県内の企業様に抱えている問題を提示していただき、それに対して高校生たちが自分たちなりに問題解決を図る探究活動です。今回、代表グループが企業様、また、学年の生徒の前で問題解決のための提案のプレゼンテーションを行いました。どれも斬新で高校生らしい素晴らしい提案となりました。データを用いながら、より具体的な案を提案する班もあれば、実現はもしかしたら難しいかもしれませんが、とてもユニークな発想で解決策を提案する班、動画や歌を作って聴衆を巻き込む班など、見ている側がとてもわくわくする、興味深い発表が多数ありました。その中



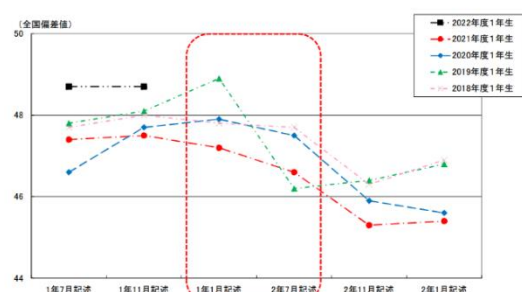
で、今回二高会賞に選ばれたのは1年3組の「くらぶち新 PR 事業 ～地域資源の再発掘～」、緑揚会賞に選ばれたのは1年2組の「いざというとき！プリエッセを思い出してもらう方法とは？」、そして、61期生賞に7組の「上野三碑にちなんだ新たなグッズを考えよ」が選ばれました。答えのない問題に対して、自分たちなりに調べ、分析し、解決策を提示するという活動をグループ内で協力して取り組みました。一人では成しえないことも多くの人間が知恵を絞り、協力していくことでイノベーションを起こすことができるかもしれません。将来、農二から多くのイノベーターが生まれることを期待します。



ベネッセによる1年生対象進路ガイダンス

2月9日(木)1限にベネッセによる1年生対象進路ガイダンスが実施されました。このガイダンスでは、1年のこの時期から、2年生の一学期にかけて、大きく成績が低下する傾向があるため、ここからが勝負であるということをこれまでの農大二高の例を出しながら説明してもらいました。この低下を食い止めるためには1. 日々、自主学習時間を確保する。2. 宿題・提出物など、課されたものは確実に取り組む。3. 自分なりに学習に集中できる環境を整える。といった基本的な学習を継続して行うことが大事であるということでした。主な内容は以下のとおりです。

18 進研模試・学年平均偏差値／2年1学期の低下に注意！



- 大学入試を意識する時期で合格可能性は大きく変わる
→「高3になってから」では間に合わない点が高校入試との大きな違い
- 目標は高い方が伸びる
→難易度が高い大学を目指すこと自体、成長につながる
→大学は「全国区」。狭い視野で決めることはもったいない
- 高校1年生は特に「学習習慣の確立」が重要
→学校の授業中心が大前提
→「学習開始時刻の固定」と「すきま時間の活用」がカギ
→テストの振り返りで力がつく

2年生対象卒業生による大学合格体験記

2月16日(木)の6限に高校2年生のIコースの生徒を対象に卒業生5名による進路ガイダンスが行われました。東京大学、群馬大学、埼玉大学、東京学芸大学から卒業生5名が母校を訪れ、現在の大学生活、高2の今の時期から高3の受験までどのように勉強したかを在校生に向けて話をしてく

れました。ある東京の大学に通う卒業生は、全国から異なるバックグラウンドを持つ生徒が集まり、日々新しい発見や刺激を受けていることやークラス約15人につき一人の教授がつくなど、少人数のクラスの中で細かく面倒を見てもらっていることなど各々に大学生活について話をしてくれました。



また、高校時代の学習においては学校のペースに合わせて、日々継続的に行っていたといいます。特に英語の勉強は毎日行い、朝、放課後など学校の自習室をフル活用したそうです。また、模試を受けた後に分析をして、自分の弱点を発見したものの、苦手教科だったため、その克服のための勉強をせず、後々大変になったという経験を話してくれました。全体的に具体的な内容が多く、来年度受験を迎える生徒たちにとっても役に立つ情報ばかりで、聞いている生徒もいよいよ来年は自分たちの番であることをより一層自覚できたように思えます。また、会が終わった後も教室には卒業生が残り、在校生からのざっくばらんな質問に丁寧に答えてもらいながら、交流を深めました。

第8回 保護者対象進路研究会の実施

2月18日(土)本校武揚ホールにて、併設大学の入学センターから入学センター課長の仲上さんをお招きし、第8回保護者対象『進路研究会』を開催いたしました。今回は『大学説明会～併設大学の魅力』と題し、学部学科の説明、入試制度についての情報提供だけでなく、産官学や地域との連携をした人材育成に力をいれている農大の魅力についてお話しをしていただきました。また、アントレプレナー(起業家育成)教育の推進をするために学生が挑む新たなイノベーションをサポートし、様々なサステナブル商品(竹を使った環境にやさしい歯ブラシの開発、昆虫食で未来の新しい食品ロ스에挑むなど)を開発し、世に送り出している画期的な取り組みについて紹介していただきました。さらに、情報活用力を備え、地域ケア医療を担う看護職を育成する取り組みに力を入れている東京情報大学についてもお話をいただきました。いずれの大学も「実学主義」を根底に置き、座学のための勉強ではなく、積極的に社会とつながりながら、体験しながら学ぶカリキュラムを重視しています。今年度たびたび併設大学について紹介させてもらいましたが、「百聞は一見にしかず」ですので、是非大学にも直接足を運び、キャンパスの雰囲気を感じてほしいものです。



今後の模試予定・進路行事

<1,2年生>	3月22日(水)	到達度テスト(1,2年全員)
<3年生>	3月8日(水)～ 3月12日(日)～	国公立個別試験 中期試験 国公立個別試験 後期試験 *気持ちを切らず！
<行事予定>	3月18日(土)	第9回 保護者対象進路研究会「今年度の入試の総括」